インテリア科生徒が、新設される「県立特別支援学校　市川大野高等学園」の校章をデザインしました！！

千葉日報（日刊）　2011年（平成23年）11月19日（土曜日）

来春開校の県立特別支援学校市川大野高等学園

校章は幸せの青い鳥

ウグイスを斬新に図案化

市川工高生デザイン

旧県立市川北高校の跡地に来年4月開校する県立特別支援学校市川大野高等学園（市川市大野町）の校章のデザインに、県立市川工業高校インテリア科3年、丹野亜泉さん（17）の作品が選ばれた。学園側が高校側に作成を頼み、2回のコンペを経て決定。丹野さんの作品は市川市民の鳥ウグイスを「幸せの青い鳥」に見立てて図案化。斬新さが高く評価された。

校章のデザインに込めた思いを説明する丹野さん

同学園準備室は、千葉国体の炬火（トーチ）を制作するなど幅広く活動している同高校インテリア科に校章のデザイン作成を依頼。改修中の校舎を見学したり学校案内を読むなどした3年生11人、2年生4人から計37作品の提案があった。

10月に2回のコンペを行い、田所明房開設準備委員長らによる審査の結果、丹野さんの作品を選出した。丹野さんの作品は同学園の自然の豊かさを表す緑の輪の中に、同学園のスクールカラーの紺ぺきでウグイスを描き「幸せの青い鳥」を表現。ウグイスには「社会に羽ばたく」との意味も込められている。

その後、微調整が加えられて校章が完成。同準備室は17日にお披露目するとともに、丹野さんに感謝状を贈った。田所委員長は「素晴らしい作品ばかりで審査は難航したが、丹野さんの作品は斬新で新設校にふさわしい。学園の基本コンセプトにも近い」と話した。

丹野さんは「何年も使われる校章のデザインに選ばれて光栄」と笑顔。見学で得たイメージを基に、同科教諭と話し合うなどして作品を仕上げた。将来の夢は工業デザイナーという丹野さん。来春からは専門学校に進みデザインの勉強を続ける。「プロへの第一歩になると思う。今回の経験と自信を将来に生かしたい」と張り切った。

丹野さんの作品は校旗やどんちょう、学校案内などに使われる。

学内１次コンペ

インテリア科２、３年生 16 名が参加し、プレゼンテーションを行いました。

２次コンペ

１次審査で選ばれた４名が２次プレゼンを行いました。